



環境リスクPress

2021年1月発行／VOL.29

アスベスト関連ニュース

2020年11月

福山通運広島支店が石綿届出無しで改修工事

「福山通運」広島支店（広島市西区）の建物改修工事でアスベスト（石綿）が含まれていたものの、建設リサイクル法で定められた事前届け出書に記載しないまま工事をしていたことが判明した。広島市は工事中の8月に広島県福山市の建設会社に再発防止を要請した。

今回、再発防止の要請にとどめた理由について広島市環境保全課は「現場の飛散対策は取れていた。発注元と受注先の意思疎通が取れていなかったのでは」と説明。悪質な虚偽記載ではないと判断したとみられる。

同課などによると、今年4月14日付の市への届け出書では、石綿の有無を示す項目は「なし」にチェックがされており、同月21日に着工。5月、近隣住民から「石綿が含まれているのでは」と通報があり、市が石綿を含んだ天井板を確認した。天井板の石綿の飛散性は、3段階の指数のうち最も低い「レベル3」だった。（参照：共同通信）

土壤汚染関連ニュース

2020年11月

北海道札幌延伸工事 不適土

北海道新幹線札幌延伸工事で渡島トンネル（北斗市）から大量に出た正体不明の「条件不適土（土壤汚染対策法に基づく「要対策土」と異なり）」が発生したことで住民の不安が広がっている。現在、既存の受け入れ地で処分できない自然由来の重金属などを含む掘削土が想定以上に発生しているため、2020年9月末ごろから一部の工区で工事を中断している。建設を担当する鉄道建設・運輸施設整備支援機構は、調査中であることを理由に問題の土の内容を明らかにしていない。工事を中断するのは、北斗市内の台場山、天狗、南鶉（うずら）の隣接する3工区。最も北側の南鶉工区で18年10月に問題の土が見つかった。その後、南側の天狗工区でも出現。さらに今後、最も南側の台場山工区でも発生が見込まれている

アスベスト関連ニュース

2020年11月

群馬県藤岡市 不法投棄疑いで5人逮捕

大量の産業廃棄物を土に混ぜ、群馬県藤岡市の造成地に不法投棄したなどとして、警視庁生活環境課は6日までに、廃棄物処理法違反の疑いで、東京都清瀬市下清戸、産廃処理会社社長の男（53）ら男5人を逮捕した。同課によると、廃棄物からはアスベスト（石綿）などの有害物質も検出された。世界文化遺産の高山社跡から数百メートルの場所に捨てていたという。廃棄物は主にガラスくずや木くずだが、アスベストなどの有害物質も検出された。

社長の男の逮捕容疑は6月、運営する中間処理施設から出た廃棄物約21トンについて約8万円で処分を委託した疑い。社長は「廃棄物ではなく残土だ」と供述し、容疑を否認しているという。正規の方法で処理すれば50万～60万円かかるという。他4人の逮捕容疑は7月、受託した廃棄物を藤岡市の造成地に投棄するなどした疑い。

藤岡市環境課によると、現場周辺の住民から「県外ナンバーのダンプカーが土砂を搬入している」との情報が寄せられ、県西部環境森林事務所に報告。市と同事務所の職員が現地を確認したが、産業廃棄物とは確認できなかったという。（参照：上毛新聞）

アスベスト関連ニュース

2020年11月

東京都板橋区・ハッピーロード大山商店街再開発

計31棟解体にて、含まれている7棟の説明に対し、住民の第三者による再調査依頼を区と事業者（再開発組合）が拒否。レベル3建材を目視で拾い出しており、みなし含有を含め全てに使用されていたことが判明した。組合では報告書に未調査とあったのは当時、（建物）別に貸し出され、中に入れなかったため。未記載なのは法律で記載対象ではないため、ミスではない」と説明する。説明会を開く代わりに、九月末に近隣住民を戸別訪問した。組合は、工事では六日ごとに環境測定を行い、現場に掲示するとしている（参照：東京新聞）

過去の環境リスクPressはこちらから **環境リスク.COM** <http://www.kankyorisk.com>

【発行】 アスベックス株式会社

〒194-0023 東京都町田市旭町2-7-8

[TEL]042-726-0744 [FAX]042-726-0726